

# 市政だより



静岡市議会議員 **はた だ** **ひびき 響**

今回の市政報告書では、静岡市民文化会館の再整備について、また、12月市議会定例会での本会議質問について（裏面）、ご報告いたします。（テーマ：旧マッケンジー住宅、駅南地域のにぎわいづくり、日出町高松線（旧久能街道）の整備、大浜公園プール）

2月16日から3月11日にかけて、静岡市議会2月定例会が開会します。新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、来年度静岡市予算案などについて、審議がされます。

## 静岡市民文化会館の再整備について

建設が昭和53年とすでに40年以上を経過しています。より使いやすく、創造活動に寄与する劇場づくりを目指して基本計画を作ります。また、駿府城公園や歴史文化施設などとも一体性をもち、歩いて楽しい地域を作ります。



### 検討中の改修のポイント

- 1 耐震補強、特定天井対策
- 2 ユニバーサルデザインを考へて、地下駐車場から大ホール・中ホールへのエレベーター設置
- 3 感染症対策を踏まえて、大ホール側のロビーを拡張し、共有エントランスの増築
- 4 舞台機構・音響・照明といった舞台設備を更新し、ホール機能の向上
- 5 ロビー棟にある展示室・会議室に遮音性をもたせ、小ホールや練習室への転用
- 6 文化会館前広場の魅力と機能を向上させるため、イベント広場、芝生広場、カフェ・コンビニなどの利便施設の整備



市民ワークショップを開催し、様々な意見を聞いています。

## 駿河区役所から地震対策メモ

今一度、家族で防災対策を見直してみてもはいかがでしょうか？

地震発生後、すぐに避難ではありません。自宅や周辺が無事で安全が確保できれば避難の必要はありません。（ただし、津波や山がけ崩れの危険がある地域は避難してください。）

もし、避難の必要がある場合は、まずは地域の集合場所（地域で決めた公園や空き地）への避難を考えてください。

### 我が家の地震対策10箇条！

チェック  してみましょう

- わが家は地震に耐えられるか？  
（補助制度あり：建築指導課 ☎221-1124）
- 家具を固定してあるか？  
（補助制度あり：建築指導課 ☎221-1124）
- 寝室に家具を置いていないか？
- 風呂に残り湯をためてあるか？
- 消火器具はあるか？
- 水・食料・携帯トイレ（7日分）はあるか？
- 非常持ち出し品はあるか？
- 出口になりうる場所に荷物はないか？
- 家族どうして安否確認や集合場所を決めているか？
- 津波・がけ崩れから身を守る場所を決めてあるか？



駿河区応援隊長「トロベ」

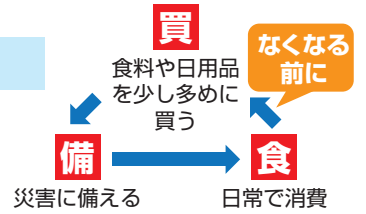


Q どうして水や食料の備蓄は7日分なのでしょう？

A 南海トラフ地震のような大規模災害があるとライフラインが長い間止まってしまう可能性があります。例えば、静岡市の備蓄食料（アルファ化米・ビスケット）は約100万食ありますが、人口約70万人。1人1食分くらいしかありません。だからこそ各家庭で備えていただきたいです。

Q 7日分も備蓄するのは大変ですが。

A ローリングストックという考え方があります。レトルト食品や缶詰などを消費しながら備蓄することもできます。



Q どうして携帯・簡易トイレは必要なのか？

A 地震が起きて水道が止まったり下水道が使えなくなった場合、トイレが流せなくなったり、無理に使うと詰まったり逆流することがあります。もちろん避難所に仮設トイレが設置されますが数も限られていますし、快適に使えるとは限りません。我慢することで体調をくずすこともありますので、必ず用意していただきたいです。

## 「健康長寿なまち」実現に向けた「歯と口の健康づくり」を進めています

令和3年3月、静岡市 歯と口腔の健康づくり推進計画(案)を策定予定です。

- 60の指標で歯と口の健康状態を進捗管理
- かかりつけ歯科医をもつことの重要性 などです。

平成31年に  
口腔保健支援センターが  
城東保健福祉エリアに  
オープンしています。



# 12月に行われた定例会 本会議にて質問いたしました



質問は  
インターネット中継で  
動画が見られます



## 質問テーマ

### 1 スポーツの推進について

- (1) 健康で豊かな生活の実現に向けたスポーツの推進について
- (2) ベルテックス静岡との連携について

### 2 文化の振興について

- (1) 登呂エリアにおける文化資源の活用による誘客について
- (2) 旧マッケンジー住宅の活用について

### 3 駅南地域の賑わいのついで

- (1) 静岡駅南口周辺のまちづくりについて
- (2) 日出町高松線の整備について
- (3) 大浜公園の再整備について

## 2-2) 旧マッケンジー住宅の活用について、旧マッケンジー住宅の建物の現状はどうか。また、今後活用に向けてどのように進めていくのか。

**観光交流文化局長** 住宅の現状については、特に傷みが激しいリビングや寝室を除き、一般公開しているが、建築から80年が経過し、建具の腐食や外壁の剥離などの劣化が進んでおり、耐震対策を含めた本格的な改修が必要となっている。令和3年度には、建物の劣化状況を調査し、専門家の指導のもと、改修方法を検討する予定。今後の住宅の活用については、市が住宅改修を行うことと並行して、旧乳児院跡地等の周辺市有地を合わせた敷地全体の民間活用を検討していくため、本年10月に、民間業者のサウンディング調査を実施した。



その中では、民間業者が、住宅とは別に施設を設置し、カフェやブライダル事業等での誘客を図るほか、住宅については、その外観や雰囲気を活かしたくつろぎの場、フォトスタジオ等として活用するアイデアも示された。また、屋外の敷地を活用したイベントやマルシェの開催などの意見もいただいた。

今後は、サウンディング調査により得られた意見等を基に、民間参入に必要な条件を検討、整理するなど、住宅の活用に向けた取組を進めていきたいと考えている。

**メモ** 旧マッケンジー住宅は、旧マッケンジー邸の通称で親しまれている静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ白い壁が美しい洋館で、昭和15年に竣工した故ダンカン・J・マッケンジー、故工ミリー・M・マッケンジー夫妻の旧宅です。夫は茶貿易商として、夫人は社会福祉家として静岡市にゆかりのある人物で、夫人は静岡市の名誉市民第1号でもあります。

建物の設計は日本各地に多くの作品を残したウィリアム・M・ヴォーリスです。昭和47年の夫人の帰国後は静岡市が所有し、市内に残る数少ない戦前の洋館のひとつとして広く一般に公開しています。



## 3-1) 静岡駅南口周辺のまちづくりについて、都市計画としてどのように考えているのか。

**都市局長** 「静岡市都市計画マスタープラン」では、「静岡都心地区」を重点地区に位置付け、「歴史が息づく、人々を刺激する都心」を目標に掲げ、まちづくりを進めている。静岡駅南口周辺では、これまで、市街地再開発事業による土地の高度利用のほか、駅への主要アクセス道路となる都市計画道路や、市民の憩いの場となる公園などの整備を進めてきた。現在は、交通結節点機能の強化とともに、更なる土地利用の高度化を図るため、南口駅前広場の再整備に向けた取組を進めている。まちの賑わい創出には、自治会や商店街、まちづくり団体などの皆さんと行政が連携しながら、まちの将来像を共有し、民間や公共の空間を利活用する取組が必要。

本年度から、駅周辺の特徴を活かし、地域と一体となってまちづくりを進めるため、官民連携による「静岡都心地区まちなか再生指針」の策定に着手し、「まちなみ」や「賑わい」などをキーワードに、まちなか再生への実現化方策の検討を行っている。

今後は、新型コロナ危機を契機とした、新しい生活様式にも対応する「居心地がよく、賑わいのある公共空間の創出」に向け、「まちなか再生指針」に基づき、駅南口周辺の魅力と賑わいのある都市空間の形成を推進する。



## 3-2) 日の出町高松線の整備内容と進捗状況はどうか。

**建設局長** 本路線は、国道1号日出町交差点から、駿河区高松の国道150号に至る、延長4kmの都市計画道路であるとともに、駅南地域の賑わいを創出するうえで、大きな役割を担う道路である。

国道1号から南幹線までの550mの区間については、人の集まる居心地の良い空間を目指して、地域住民、沿線企業、行政が連携し、まちづくりワークショップによる検討を重ね、趣のあるガス灯やケヤキ並木など、地域に愛される道路として整備を進め、令和元年度に完成した。

現在、事業を進めている南幹線から丸子池田線までの560mの区間については、地域の皆さんの協力により用地取得率は7割に達しており、令和4年度からの工事着手を予定している。

今後の整備にあたり、交通の円滑化だけでなく、駅南地域の賑わい創出をいかに支えていくかも重要であると考えているので、引き続き、地域に愛される道路となるよう整備を進めていく。



## 3-3) 大浜公園リニューアル基本計画の内容と現在の進捗状況はどうか。

**都市局長** 基本計画の内容は、「歴史あるプールの存続と年間を通じて賑わいを創出できる公園」を目指し、施設の整備に当たっては、「プールゾーン」、「公園ゾーン」、「松林ゾーン」の各整備ゾーンを設定した。

「プールゾーン」では、プールを有料施設とし、レジャー施設としての魅力向上を図る。「公園ゾーン」では、地域の憩いの場としての機能を充実させると共に、駿河湾の浜辺に隣接した立地を活かしながら、民間事業者の提案による収益施設を配置し、大浜公園の特色を活かした新たな魅力を創出する。また、「松林ゾーン」では、防風機能等を有する公園北側の帯状の松林を適正に保全しながら活用していく。

事業手法は、民間事業者の資金とノウハウを活用できるPFIによる手法を最適案とした。現在の進捗状況についてですが、本年は、民間事業者公募に向けた課題整理を行うためのサウンディング調査を実施しており、事業者からの参入意欲も確認できている。

今後、この調査結果や新しい生活様式の考え方を踏まえた仕様書を作成し、令和4年度に事業者を決定する予定。密にならない憩いの空間を提供できる公園は、コロナ禍においても、多くの市民に利用されていることから、当初計画のとおり、令和7年夏の供用開始を目指して進める。

市政に対するご意見、ご要望などありましたら、お気軽にご連絡ください。

自民党静岡市議会議員団 静岡市議会議員 畑田 響  
静岡市葵区追手町5-1 静岡市役所内 ☎054-254-2111(内線4511)

**新型コロナ**  
静岡市 **なんでも相談ダイヤル**  
ゼロ コロナ  
0570-08-0567  
毎日9:00~20:00

静岡市LINE公式アカウントが  
スタートしています。  
ぜひ、登録してください。

LINE 友だち追加